

## ごみの減量化に取り組む人たちを応援します

### 1 生ごみ処理機購入費補助

一般家庭から排出されるごみの減量を促進するため、生ごみ処理機購入費の一部を補助します。

#### 【要件等】

- ・市内に住所があり居住している世帯主
- ・市内に機器を設置し適切に管理ができること

#### ◎交付対象機器

- ・電気式で乾燥等により生ごみを減量する機器  
(※単に生ごみを破砕するだけの機器は対象外)

◎補助金…1基当たり13,000円

◎補助対象…1世帯当たり1基(※助成は1回限り)



### 2 ごみ収集施設設置費補助

ごみ等収集場所に収集施設を設置する関係地区に対して補助金を交付しています。

#### 【要件等】

- ・おおむね10戸～25戸を対象とした収集施設  
(用地関係費は対象外)
- ・収集施設の維持管理は関係地区で行うこと

◎補助金…標準的な施設で設置費用の1/2以内  
(上限10万円まで)

◎申請…見積書・設計書等の書類が事前に必要です



### 3 ごみ減量化協力団体報奨金

限りある資源を大切に活動する活動を奨励し、市内で排出されるごみの減量を図るために、町内会・PTA・子ども会等が自主的に実施する資源ごみの集団回収活動に対して、報奨金を交付しています。

#### 【要件等】

- ・地域住民で構成される団体であること
- ・営業を目的としない団体であること

#### ◎対象回収品目

- ・古紙類、繊維類、ビン類、カン類、金属類、  
その他有価物

#### ◎報奨金額

- ・資源ごみ回収重量1キログラムにつき7円

#### ◎申請手続

- ・事前にごみ減量化協力団体登録が必要です
- ・申請は資源回収業者の資源回収引取明細書と  
団体報奨金交付申請書が必要です



■ 問い合わせ 環境課環境政策係 ☎0259

助成制度をうまく活用して  
みんなでごみの減量化に取り組もう

ごみ減量化に取り組んでいます

私たちは

# 「ごみ減らし隊」



ごみ問題をはじめとする環境問題について話してくれた西時江さん。

ごみの減量化や資源化の推進を図るため、地域のリーダーとしてごみに対する地域住民の意識改革や不法投棄防止のための監視役などを担っているごみ減らし隊の皆さん。現在、市内には14人の隊員がいます。

玉川地域を担当する西さんにお話を聞きました。

「昨年11月に隊員となってから約1年がたちました。研修を受けたり、我が家から出るごみの排出量を環境家計簿に記録していく中で、ごみ減量化に関する意識がさらに強まりました。

玉川地域は以前からごみ問題に対する意識が高い地域ですが、これからも地域活動などを通じて、ごみを作り出さない意識を地域の皆さんと共有できるよう頑張っていきます。」

今後、市内の隊員を最大45人まで増やして、循環型社会に即した環境にやさしいまちづくりを地域の皆さんと一緒に進めていきます。

### ペットボトルのラベルをはがして その他プラスチックとして 回収します。(試行)

これまでペットボトルの回収は、キャップを外して中をきれいに洗った状態で収集バッグに入れていたが、ペットボトルに貼ってあるラベルをはがして「その他プラスチック」の収集バッグに入れるように試行を始めます。再生をするための処理方法が異なるペットボトルとラベルを分別して回収することは、再資源化するためのより有効な方法ですので、皆様のご協力をお願いします。



### 今日からできるごみ減量化 生ごみはぎゅっと 水分を切ってから

ごみの減量化を進めていくためには、まず家庭内からはじめることが大切です。

- ①水切りによる生ごみの減量化
- ②マイバッグ運動の実践
- ③簡易包装によるごみ減量化
- ④詰め替え製品の利用
- ⑤分別排出の徹底
- ⑥廃品回収への参加

特に①水切りによる生ごみの減量化については、家庭から出る生ごみの半分以上は水分といわれていることから、生ごみを出すときに「ぎゅっ」とひと絞りすることで減量化できます。

ぜひ実践してみてください。